

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所（耐震基本方針：機能維持の基本方針）

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
1	NS2-添2-001-09	VI-2-1-9 機能維持の基本方針	目次,p.106	4.7について、非常用取水設備にのみ貯水機能が要求される記載となっていました。島根2号機は基準津波による引き波時においても連続取水可能であり、非常用取水設備に該当しない低圧原子炉代替注水槽において貯水機能が要求されることから、4.7から貯水機能に係る記載を削除し、4.8に貯水機能に係る記載を追加しました。	2021/11/12	
2	NS2-添2-001-09	VI-2-1-9 機能維持の基本方針	p.26~29	「一次膜応力」を「一次応力」に適正化しました。	2021/11/12	
3	NS2-添2-001-09	VI-2-1-9 機能維持の基本方針	p.44	注記*4の記載範囲のうち「Ⅲ _A S許容応力」を「Ⅲ _A Sの許容応力」に適正化しました。	2021/11/12	
4	NS2-添2-001-09	VI-2-1-9 機能維持の基本方針	p.48	「S _s 地震動のみによる応力振幅について評価する。」を「S _d 又はS _s 地震動のみによる応力振幅について評価する。」に適正化しました。	2021/11/12	
5	NS2-添2-001-09	VI-2-1-9 機能維持の基本方針	p.52,54	「座靴」を「座屈」に適正化しました。	2021/11/12	
6	NS2-添2-001-09	VI-2-1-9 機能維持の基本方針	p.60	「重大事故等対処施設における許容応力状態Ⅳ _A Sの許容限界については」を「重大事故等対処施設における許容応力状態Ⅴ _A Sの許容限界については」に適正化しました。	2021/11/12	
7	NS2-添2-001-09	VI-2-1-9 機能維持の基本方針	p.60	「J E A G 4 6 0 1・追補版-1991」を「J E A G 4 6 0 1-1991 追補版」に適正化しました。	2021/11/12	
8	NS2-添2-001-09	VI-2-1-9 機能維持の基本方針	p.63	以下の数式を適正化しました。 変更前： $\tau_u = \begin{cases} \left\{ \frac{1 - \tau_s / (1.4 \cdot \sqrt{F_c})}{1.4 \cdot \sqrt{F_c}} \right\} \cdot \tau_o + \tau_s & (\tau_s < 1.4 \cdot \sqrt{F_c}) \\ \tau_s & (\tau_s \geq 1.4 \cdot \sqrt{F_c}) \end{cases}$ 変更後： $\tau_u = \begin{cases} (1 - \tau_s / (1.4 \cdot \sqrt{F_c})) \cdot \tau_o + \tau_s & (\tau_s < 1.4 \cdot \sqrt{F_c}) \\ \tau_s & (\tau_s \geq 1.4 \cdot \sqrt{F_c}) \end{cases}$	2021/11/12	

9	NS2-添2-001-09	VI-2-1-9 機能維持の基本方針	p.66	「最小値をTLを(TL)minとする。」を「最小値を(TL)minとする。」に適正化しました。	2021/11/12	
10	NS2-添2-001-09	VI-2-1-9 機能維持の基本方針	p.67	以下の数式を適正化しました。 変更前： $q_{a1} = \phi_1 \cdot s \sigma_{pa} \cdot s_{ca}$ 変更後： $q_{a1} = \phi_1 \cdot s \sigma_{qa} \cdot s_{ca}$	2021/11/12	
11	NS2-添2-001-09	VI-2-1-9 機能維持の基本方針	p.67	以下の数式を適正化しました。 変更前： $q_{a2} = \phi_2 \cdot \alpha_c \cdot \sigma_{qa} \cdot s_{ca}$ 変更後： $q_{a2} = \phi_2 \cdot \alpha_c \cdot c \sigma_{qa} \cdot s_{ca}$	2021/11/12	
12	NS2-添2-001-09	VI-2-1-9 機能維持の基本方針	p.68	以下の数式を適正化しました。 変更前： $q_{a3} = \phi_2 \cdot \alpha_c \cdot \sigma_t \cdot A_{qc}$ 変更後： $q_{a3} = \phi_2 \cdot \alpha_c \cdot c \sigma_t \cdot A_{qc}$	2021/11/12	